

シアター ترام

照明設備概要

2015, 1版

シアタートラム照明設備概要

平成27年1月現在

小劇場 (シアタートラム)

◇1 調光機械室

1-1 主幹盤・分岐盤

電源 : 3相4線225/130V 300KVA

1-2 効果器主幹盤・分岐盤

電源 : 単相3線 210/105V 80KVA

仮設電源 : 単相3線 40KVA 3相3線 35KVA

1-3 調光器盤

調光器 : [舞台用] 2KW(120台) 3KW(154台) 6KW(18台) [客席用] 16台
[ND・直回路] 60A(22回路) 15A(23回路)

◇2 調光室 (照明コントロール室)

2-1 調光操作室(丸茂シューティング卓)

記憶容量 : 1000 キュー

最大コントロールチャンネル : 2048 チャンネル

サブマスター : [ページ数] 100 [フェーダー数] 10 [マルチフェーダー] 10

液晶カラーディスプレイ : 2

エフェクト : 100チャンネル 100ステップ 100パターン

2-3 外部持ち込み卓用コネクターボックス : 2面

2-4 ワイヤレスコントローラー : 一式

◇3 舞台客席上部設備・器具

3-1 美術・照明兼用ハット（前舞台）

[NO.1ハット(調光室側)](L10, 000mm)20A(8回路) 直15A(1回路) DMX(1口)

[NO.2~NO.8ハット(舞台奥側)](L11, 900mm)各ハット20A(16回路) 直15A(1回路) DMX(1口)

([作業用ゴンドラ]N01とN02、N03とN04の間と言うように4コースに両サイドから中央に向かってゴンドラが移動する。)

3-2 美術ハット（後舞台）

[NO.1ハット(調光室側)](11, 900)コンセントダクト無し

[NO.2~NO5ハット(舞台奥側)](7, 600)コンセントダクト無し(後舞台ギャラリーから回路供給)

◇4 舞台・客席床面設備・器具

4-1 ウォールコンセント（LH含む）

30A(26回路) 60A(4回路) ND60A(4回路) 直15A(2回路) DMX(1口)

4-2 サイドギャラリーコンセント（ギャラリーにて強電ハッチ）

[上部]30A(48回路) 60A(6回路) ND60A(8回路) 直15A(6回路) DMX(6口)

[下部]30A(48回路) 直15A(4回路) DMX(2口)

4-3 奈落サイド壁コンセント(ギャラリーにて強電ハッチ) : 30A 24回路

(注) 4-2, 4-3の全30Aコンセント120回路は、強電ハッチにて3KWディマー-60台を共有。

4-4 後舞台ギャラリー

[1後G(L. R)]30A(30回路) 60A(4回路) ND60A(4回路) 直15A(2回路) DMX(2口)

[2後G(L. R)]30A(30回路) 60A(4回路) ND60A(4回路) 直15A(2回路) DMX(2口)

4-5 調光室他

[バルコニー] 30A(4回路)

[センタールーム]30A(4回路) ND60A(4回路) 直15A(1回路) DMX(1口)

4-6 舞台袖操作盤 : [客席調光スイッチ] [作業灯スイッチ]

注) DMX-OUTは総てEther-conになっています。各所に4PORT-NODEを設置して配線する事になります。

スポットライト

1Kフレネル (MS)	1台	300円	シアタートラム用
0.5, 1.5, 2K (FQH S1)	1台	300円	

エリプソイダル

ソースフォー 575W (410,419,426,436,450)	1台	200円	付属品は無料
ソースフォー 750W (ZOOM2550)	1台	200円	付属品は無料

パーライト

100W バーディ (M16)	1台	100円	
500W ミニパー (SPH N, W)	1台	100円	シアタートラム用
500W PAR64 (SPH N, M)	1台	100円	シアタートラム用
ミニブル (MB2)	1台	100円	

パラボリックライト

250W AC (応用光学VN 100V)	1台	200円	
-----------------------	----	------	--

ブラックライト

FL型	20台	900円	
-----	-----	------	--

HMI スポット

ARRI 1.2K (ブラインドシャッター付)	1台	2400円	シアタートラム専用
-------------------------	----	-------	-----------

プロジェクタースポット

EPD3 (全ての付属品を含む)	1台	700円	
------------------	----	------	--

特殊効果機

ファイヤーマシーン (ドラム型)	1台	700円	
波マシーン (箱波)	1台	300円	
虹マシーン (応用光学)	1台	1000円	
ミラーボール (置型、吊型)	1台	300円	
星球	1式	500円	
マルチストロボ	2台	700円	
パーライト用ストロボ (DMX)	4灯	400円	

持込機材電源

1KW	150円	
-----	------	--

照明セット内訳 (シアタートラム)

セット1 [6,900円]

調光システム	1式
移動用スポットライト	50台
MS (1KW) FQH S1, S2 (500W, 1.5KW, 2KW)	ソースフォー (各種) パーライト (PAR64)

セット2 [12,800円]

調光システム	1式
移動用スポットライト	196台
MS (1KW) FQH S1, S2 (500w, 1.5KW, 2KW)	ソースフォー (各種) パーライト (PAR64)
効果器	
1KWプロジェクタースポット (EPD3)	6台 (付属の各マシンを含む)

セット3 [27,600円]

セット2にプラス			
移動用スポットライト			
バーディー 100W (PAR16)	40台	ミニブル	4台
AC (応用光学VN)	40台		
500Wミニパー	20台		
効果器			
ブラックライト (FL型)	10本	パーastroロボ	4台
パーライト用astroロボ	4灯	マルチastroロボ	2台
ファイヤーマシーン	2台	箱波	6台
虹マシーン	2台	ミラーボール	2台
星球	1セット		
特殊機材			
HMI スポット (1.2K)	4台		

各セットとも 1KWクセノンピンスポット2台、ホリゾントライト (UH, LH) を含みます。

* 印はパブリックシアターとの共用です。

稽古場 A

◇1 電 源

1-1 主幹盤・分岐盤

電源 : 3相4線 210/105V 150KVA

1-2 調光器盤

調光器 : [舞台用]2KW(60台)・3KW(19台) [作業用]6KW(3台) [直回路]15A(5回路) [DMXコネクター]5口

◇2 調光システム

2-1 調光操作卓(EXPress250)

記憶容量 : 600

最大コントロールチャンネル : 250

サブマスター : [パース数]10 [フェーダー数]24

CRT : 1台

2-2 仮設電源盤

単相3線 20KVA

稽古場 B

◇1 電 源

1-1 主幹盤・分岐盤

電源 : 3相4線 210/105V 90KVA

1-2 調光器盤

調光器 : [舞台用]2KW(30台)・3KW(20台) [作業用]6KW(2台) [直回路]15A(3回路) [DMXコネクター]3口

◇2 調光システム

2-1 調光操作卓(NSI MC7532)

最大コントロールチャンネル : 64

2-2 仮設電源盤

単相3線 20KVA

稽古場 C

◇1 電 源

単相 3 線 20KVA

作業室 A

◇1 電 源

1-1 主幹盤 : 単相 3 線 210/105V 25KVA

1-2 調光盤 : 2KW(10台)・直15A(2回路)・DMX(2口)

1-3 仮設電源 : 単相 3 線 20KVA

◇2 調光操作パネル

マスターフェーダー(1本)・プリセットフェーダー(10本)・テザラー卓用コネクター(1個)

稽古場基本セット（稽古場 A, B） [1, 200円]

調光システム	1式	(ETC EXPRESS 250 / NSI MC7532)
スポットライト	500W FQH SI	10台
持込機材電源	1KW	150円

上記以外の機材の使用については、両劇場の使用を優先し、使用料は、両劇場の料金表による。

照明作業における注意事項

シアタートラム

● 仕込に入る前に

1. 仕込作業に入る前に、スタッフ全員での打合せがあります。
2. 作業中はヘルメットを着用して下さい。
3. シアタートラムへの搬入は迫りを利用して、B2F から1F の舞台面へ運ぶ経路が、主に使用されます。そのため舞台面が敷物や装置で覆われてしまった後では、搬入が困難になる場合がありますので、予め搬入計画を劇場側スタッフとしっかり打ち合わせしてください。
4. 当劇場の移動器具の保管場所が数ヶ所にわたっているので、カンパニーが使用する器具の所在を、吊り込む以前に劇場側照明係に確認して下さい。B2F の倉庫の器材は迫りを利用して上げた方が、効率がいいので、搬入物との順序調整をして下さい。
5. 当劇場の器具類には既存のメーカーの製品に固有の改良を加えたものが、いくつかあります。取り扱いについては、劇場側スタッフに確認の上、使用するようして下さい。
6. 持ち込み器具がある場合、当劇場には、T 型コネクターの付いたケーブル類が一切ありませんので注意して下さい。
7. 当劇場は複合ビル内の一部に属しているため、防災管理もビル内一括で行われています。それにより万が一、照明器具等の不良などによって、漏電がおきると、ビル内全体に警報が流れるシステムになっています。持ち込み器具等のチェックを事前に十分して下さい。

● バトン等への吊り込み

8. 当劇場には基本仕込の設定がありませんので、バトン等の器具は一定ではありません。
9. 搬入のための迫り昇降と、照明吊り込み作業が同時進行する場合、迫りへの注意が散漫にならぬ様、充分気をつけて下さい。
10. 当劇場は安全作業に万全を期すため、吊り込み時、器具本体の落下防止ワイヤーはもちろん、バンドアー、元玉、先玉、マシン類等、本体と切り離しが可能で落下の危険があるもの、及び色枠にも落下防止ワイヤーの装着をお願いしています。又、ワイヤーを掛ける位置も、各器具所定の位置に掛けて下さい。

11. 持ち込み色枠の紙製の色枠は、防炎加工してあるものに限り、使用を認めます。但し落下防止ワイヤーの装着は、紙シート、金シート共に必要です。
12. 当劇場は色枠として、器具からの落下防止ワイヤーを受けるワイヤーリング付きで、**不燃性素材**を用いた**ハイパーフィルターホルダー**を使用しています。可能な限り、当方のものに入れ替えて下さい。
13. 動力バトン、点吊装置については当劇場の機構係又は照明係が、安全確認の上、昇降の操作を行います。昇降操作中は、その直下を通過しないようにして下さい。
14. バトン等吊り込みのために、降ろされたケーブルの**バトン端**は、ロープ、バインド線等でしっかりと固定し、ビニールテープ、ガムテープなどは使用しないで下さい。（バトン内の要所要所の止めにはテープ類を使って結構です。）
15. 前舞台には NO1～NO8 までの兼用バトンと NO1 の美術バトンの他に四列の点吊装置があり、平トラスが吊られている場合があります、照明用バトンとして使用が可能です。平トラスや美術バトンには、主に上下サイドギャラリーから容易に回路を引き廻せます。
16. 兼用バトンの回路容量は、2kw となっていますので、注意して下さい。又、ND 回路を必要とする場合はサイドギャラリーから引き廻せます。
17. 後舞台には NO2～NO5 までの美術バトンがあり照明用バトンとしても使用が可能です。上下後ギャラリーから容易に回路を引き廻せます。
18. バトン等の吊り込みが終了しても、当劇場の担当照明係の安全チェックを受けてからバトンを上げるようにして下さい。

● **ギャラリー**

19. 舞台面からギャラリーへのアクセスは、**上手**が舞台奥の、楽屋から続く階段を上がっていくと途中に後ギャラリーへの扉があり、上がり切ったところにサイドギャラリーへ通じる扉があります。**下手**は、後舞台から直接、後ギャラリーへ上がり、二重扉の向こう側の照明主幹盤室を経て、サイドギャラリーへ通じる扉があります。又下手客席側後方にあるエレベーターで2階まで上がり、照明コントロール室から下手サイドギャラリーへ、音響室から上手サイドギャラリーへそれぞれ通じる扉があります。
各ギャラリーでの作業では、原則として**安全ベルト**を着用してください。
20. サイドギャラリー上手、下手には、**作業ゴンドラ**（当劇場独特のシステム）が各々四基ずつ収納されています。これらは兼用バトン NO1 と NO2 の間、NO3 と NO4 の間、NO5 と NO6 の間、NO7 と NO8 の間をバトンに沿って手動で走行するようになっています。フォーカス時等の作業時に、これらに乗込む時は、当劇場のスタッフの指導を受けてから、必ず**安全ベルト**を着用し、乗込むようにして下さい。
21. サイドギャラリー^{した}下の空調吹き出し口の下場に、吊り込み用バトン（1SG）があり、直接、又は当劇場備品のラダーを利用しての、器具の吊り込みが可能です。

22. サイドギャラリー（2SG）、ギャラリー下場バトン（1SG）、及び奈落コンセントは、共通になっており、下手はサイドギャラリーの照明コントロール室寄り、上手はサイドギャラリーの音響室寄りに、それぞれ強電パッチ盤があります。調光卓へのパッチは、ここでパッチされた回路を申告して下さい。

● 電飾・灯入れ

23. 電飾持ち込みの場合、配線図（消防署の許可を得たもの）の提出を前もってしておいて下さい。

24. 灯入れ関係の仕込がある場合、定格容量のブレーカーを必ず入れて下さい。（劇場側のブレーカー付きケーブルを利用されても結構です。）

● 舞台面・客席等

25. 舞台床面に直に、或いは、リノリウム、パンチカーペットの類のものに、直に照明（LH, LHQ等は可）器具を置くことは、禁止します。断熱性の素材のものを中間に入れて、置いて下さい。

26. ケーブル等の養生のために、ガムテープや両面テープ等、粘着性の強いものの舞台床面への、直接の使用は禁止します。

27. バトン吊り、舞台置きを問わず、袖幕等の幕類からは最低、10cm程、灯体を離して仕込むよう、注意して下さい。

本番中、場面転換や、出演者の出入り等で、袖幕付近に置いてある灯体が動いて、接触してしまう場合があるので、幕類近くに仕込みがある作品の舞台上には必ず照明係又は、それに準じる係員（舞台監督や演出部が、兼ねても良い）を、配置してください。

28. 客席内に固定の照明器具（スタンド等を含む）を仕込む場合、非常時の通路確保のため、客席椅子から1メートル以上離して設置するようにして下さい。

場合によっては、客席椅子の取り外しを必要としたり、一部座席が使用出来なくなったりしますので、カンパニー側の制作との調整もしていただきます。

29. 客席内のケーブル配線は、観客が開演前、休憩中、終演後の他に、開演中の客電暗転中にも移動する可能性がありますので、引っ掛けたり、躓いたりしないように、しっかりと養生して下さい。

30. 舞台装置や小道具で水・土・砂・紙吹雪や、それらに類する粉末・液体等の使用があると、場合によっては、終演後に照明器具等のメンテナンスが必要となる場合がありますので、仕込打合せの段階で十分検討してください。

31. 劇場機材のハンガー取り付け用ダボをはずす事は禁止します。

PAR-16用金具などに取り付ける場合は、持込機材を使用して下さい。

32. 舞台上や客席等での作業に高所作業車や脚立を使用する場合、原則として転倒防止のための補助要員を配置してください。また、天板の上には乗らないで下さい。